

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
麻生外語観光&製菓専門学校		平成3年1月8日	竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2288		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999		
目的	結婚式場を備えたホテル及び結婚式場のスタッフ、衣裳コーディネーターなどブライダル産業に幅広く関わり、活躍できる人材の育成を目指す。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
商業実務	商業実務専門課程		ブライダル・ウェディング科		平成22年文部科学大臣告示第31号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間		1980	580	1210	480	0
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
80人		68人	2人		15人	17人	
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日 *1年次はホテル実習のため学期を分割して運営			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度確認テスト等の総合評価		
長期休み	■夏季:8月8日～9月11日 ■冬季:12月24日～1月10日 ■学年末:3月14日～4月3日			卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席届と理由書(医師の診断書等)提出			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ホテル、ブライダル、旅行業界など ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年4月1日時点の情報)			主な資格・検定等	サービス接遇検定準1級 色彩検定3級、 マナープロトコール検定ABC検定など		
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 1.8% 平成28年4月1日時点において 在学者 95名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日時点において 在学者 94名 (平成29年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由による学業継続困難等 ■中退防止のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等						
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/aftc/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により実施する、8週間のホテル実習と2週間のブライダル実習を通してブライダル業界において必要とされる知識・技能を習得する。実習内容については、卒業に対する「お客様アンケート」結果による企業視点を軸とし、業務内容・実習期間・評価方法を明確に定める。その内容に沿った指導と評価を受けることで学内での学習との相乗効果を図る。実習終了後は企業からの評価を受け、成績評価をする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とし、審議の内容をカリキュラム検討会議に報告。報告内容は授業科目の改善、新規開設に反映し、常に業界で必要とされる知識・技能の習得が可能となる質の高い教育を提供できるようにする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
加藤 博志	九州B.M.C.会長	H29/4/1～H30/3/31	①
古賀 三和子	(株)アルカディア 人事課長	H29/4/1～H30/3/31	③
安藤 大介	高見(株) 九州営業部 部長	H29/4/1～H30/3/31	③
東 まゆみ	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウェディング科 専任教員	H29/4/1～H30/3/31	
中村 直輝	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウェディング科 専任教員	H29/4/1～H30/3/31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:30～17:30

平成28年度 第2回 平成28年10月20日 15:30～17:30

平成29年度 第1回 平成29年6月21日 16:30～17:30

平成29年度 第2回 平成29年10月18日 15:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

ブライダル業界における人材育成として、ホテル実習8週間とブライダル実習2週間を、カリキュラムとして取り入れることで、業界に必要な知識とマインドを総合的に学習している。ブライダル業界は新規企業の台頭が著しく、業界のニーズに適した実習になっているかを確認してもらった。ホテル実習は問題ないが、ブライダル実習は受け入れいただく企業によっては、実習生を指導する体制が整っていない場合もあり、実習内容及び学生の達成度に差があるのではないかと意見があったため、実習成果の到達度を平均化するための細やかな実習プログラムを検討している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。その内容については、将来ブライダル業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業と学校により、教育カリキュラムの設定、変更にあたっては事前に協議を行い、企業が選任した講師による実習・演習を実施し、評価としては期間中の勤務状況などを踏まえた総合評価を事前確認している。

(3)具体的な連携の例		
科目名	科目概要	連携企業等
ホテル実習	企業連携により実施する、8週間のホテル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また配属された部署を通して、ホテル組織の仕組みや部署間の連携を学ぶ。	セルリアンタワー東急ホテル、京都ブライトンホテル、神戸ポートピアホテル、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
ブライダル実習	企業連携により実施する、2週間のブライダル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また各ブライダルの現場を通して、最新のトレンドとブライダルマーケットの現状を学ぶ。	アイ・ケイ・ケイ(株)、(株)テイクアンドギブ・ニーズ、アルカディア、瀏上ファインズ等

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、更に即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。
定期的に行われるホテル系関連団体の会合等に参加し、業界に関する情報交換やトレンドの研究を把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・全国宴会支配人協議会(一般社団法人九州BMC)の賛助会員として年数回の定例会
- ・公益社団法人日本ブライダル文化振興会(BIA)主催のブライダル・コーディネーターの検定試験に関する研修

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・人事課実施の研修 中堅教職員研修、キャリアデザインワークショップ研修 他
- ・インプレッショントレーニング

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・賛助会員として年1～2回開催予定の案内あり
- ・人事課実施の研修 教授法:インストラクショナルデザイン(教育指導計画の作成方法)他

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・アクティブラーニング研修
- ・メンタルヘルス研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公開することにより、開かれた学校作りをおこなう。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像を明文化しているか ・上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでいるか
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の管理・運営体制が確立しているかどうか

(3)教育活動	各学科の教育目標、育成人材に向け ・カリキュラムの作成などの取り組みをしているか ・教授学習プロセスの改善への取り組みをしているか ・業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか ・教員の資質維持や向上に向けた取り組みをしているか
(4)学修成果	・各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか
(5)学生支援	・各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)(卒業後) ・上記以外を通じての学生支援
(6)教育環境	・各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか
(7)学生の受入れ募集	・各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)
(8)財務	・中長期的に学校の財政基盤は安定しているか ・予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・資産管理は適切に行われているか ・会計監査が適切に行われているか ・財務情報の公開の体制はできているか
(9)法令等の遵守	・各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか
(10)社会貢献・地域貢献	・意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

カリキュラム策定においては、企業等の外部関係者との連携を更に充実させるため、連携企業の選定も含め体制強化を今後も引き続き実施していくこととした。また、他の高等教育機関との連携を推進する等の改善を行っていくこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
村山 聖子	平成28年度入学ブライダル・ウエディング科2年生 保護者	H28/4/1～H30/3/31	保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生	H28/4/1～H30/3/31	卒業生
高島 妙美	平成21年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	H28/4/1～H30/3/31	自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校	H28/4/1～H30/3/31	校長
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	H28/4/1～H30/3/31	団体
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
加藤 博志	九州B.M.C.会長	H28/4/1～H30/3/31	団体
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
長 加奈子	福岡大学 准教授	H28/4/1～H30/3/31	教育機関
松永 陽子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	H28/4/1～H30/3/31	企業
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 グランドサービス部 ラインハンドリング課3課 マネージャー	H28/4/1～H30/3/31	企業

小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店 九州グローバルロジスティクス企画 次長	H29/4/1～H31/3/31	企業
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任	H28/4/1～H30/3/31	企業
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長	H28/4/1～H30/3/31	企業
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長	H28/4/1～H30/3/31	企業
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長－人材開発担当	H28/4/1～H30/3/31	企業
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員 人事総務部長	H28/4/1～H30/3/31	企業
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長	H28/4/1～H30/3/31	企業
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	H28/4/1～H30/3/31	企業
藤田 敦子	ロイヤルホールディング株式会社 人事課長	H29/4/1～H31/3/31	企業
安藤 大介	高見株式会社 九州営業部 部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部	H28/4/1～H30/3/31	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法:ホームページ URL:<http://www.asojuku.ac.jp/disclosure/>

公表時期:8月

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、校訓、沿革、所在地、連絡先、魅力、麻生塾の取組
(2)各学科等の教育	定員、カリキュラム、時間割、取得可能な資格、国家試験・検定実績、内定実績
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート
(5)様々な教育活動・教育環境	年間行事、部活動・サークル活動
(6)学生の生活支援	学生寮、海外交流センター、プラスα制度
(7)学生納付金・修学支援	学費について、特待生制度、学費分割納入制度、兄弟姉妹・親子入学奨学金、日本学生支援機構奨学金制度
(8)学校の財務	財務情報
(9)学校評価	自己点検・評価報告書、学校関係者評価委員会評価報告書
(10)国際連携の状況	海外教育機関との連携、海外提携校、出願資格、出願書類、選考方法、入学手続き、校納金特別免除制度
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/> (麻生外語観光&製菓専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル・ウエディング科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ウエディングセレモニー論 I	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1前	20	1	○			○		○		
○			ウエディングプラン演習	オリジナルウエディングの企画・演出能力を養う	1後	20	1		○		○		○		
○			ホテル概論	ホテルの歴史、組織、婚礼部門の業務内容などを体系的に学ぶ	1前	20	1	○			○		○		
○			ブライダルメイクA	ブライダル業界で働く上で必要なメイクを学ぶ	1前	20	1			○	○			○	
○			ブライダルメイクB	ブライダル業界で働く上で必要なメイクを学ぶ	1後	20	1			○	○			○	
○			ブライダルフラワー I	ブライダルの現場に必要なブーケ、装花の知識を習得する	1前	20	1		○		○		○		
○			ブライダル衣裳	ドレスコーディネーターとして必要な知識を習得する	1後	20	1	△	○		○			○	○
○			ブライダル接遇演習 I	ブライダルスタッフとして必要な接客技能の基本を身につける	1後	20	1	△	○		○		○		
○			カラーコーディネート演習A	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1前	20	1		○		○			○	
○			カラーコーディネート演習B	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1後	40	2		○		○			○	
○			レストランサービス演習	レストランウエディングや披露宴での料理、飲物のサービスについて学ぶ	1前	40	2	△	○		○			○	○

○		GCB I	感謝心と思いやりの教育	1前	15	1	○		○	○				
○		ホテル実習	ホテル業界で実習することにより知識と実践力を養う	1前	320	4			○	○	○	○	○	○
○		ブライダル実習	ブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う	1後	80	2			○	○	○	○	○	○
	○	海外ウエディング研修(選択)	海外ウエディングの現場を視察し、実務を見学することにより、職業観を深める	1後	(40)	(1)			○	○				
○		ABC検定対策	アシスタントブライダルコーディネーター検定の取得を目指す	2後	45	3	○		○	○				
○		パーソナルカラーA	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラリスト検定3級の取得を目指す	2前	60	4	○		○				○	
○		パーソナルカラーB	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラリスト検定2級の取得を目指す	2後	30	2	○		○				○	
○		ブライダル接遇演習Ⅱ	1年次に学んだ接客の基本を活かし、より具体的な場面に応じた接客マナーの知識を学ぶ	2前	30	2	△	○	○		○			
○		ウエディングセレモニー論Ⅱ	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	2前	30	2	○		○		○			
○		和装着付演習	和装を自分にも相手にも着付ができる力を養う	2前	30	2			○	○				○
○		イベントプランニング	企画案をイベントとして実行できる力を養う	2前	15	1			○	○				○
○		ブライダルコーディネート演習	挙式・披露宴に必要な演出やアイテムについて、知識を深める	2前	30	2	△	○	○		○	○	○	○
○		ブライダルビューティ演習	ブライダルメイク・ヘアアレンジ・ネイルなど、花嫁をトータルに演出するアイテムについて知識を深める	2前	30	2	△	○	○		○	○	○	○
○		テーブルコーディネート演習	結婚式用のテーブルコーディネート・空間コーディネートについて実践を通して学ぶ	2前	30	2			○	○		○		

○		司会演習	ブライダル業界に必要な司会技法を学ぶ	2 前	30	2		○		○					○	○
○		マナープロト コール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての 知識を身につける	2 前	30	2	○			○					○	
○		ブライダル フォト	ブライダル業界に必要な映像技法を学ぶ	2 前	30	2	△	○		○					○	
○		ブライダルフ ラワーⅡ	ブライダルの現場に必要なブーケ、装花の 知識を習得する	2 後	30	2		○		○				○		
○		一般教養ⅡA	就職試験対策として基本事項を学ぶ	2 前	30	2	○			○					○	
○		一般教養ⅡB	就職試験対策として基本事項を学ぶ	2 後	15	1	○			○					○	
○		社会教養ⅡA	自己分析、業界研究など就職のための準備 をする	2 前	30	2	○			○				○		
○		社会教養ⅡB	自己分析、業界研究など就職のための準備 をする	2 後	30	2	○			○				○		
○		ビジネス実務	来客電話応対など実社会に必要な実務能力 を養う	2 後	30	2	○			○				○		
○		茶道	基本の動作と客の作法、略手前ができるよ うになる	2 後	30	2		○		○					○	
○		毛筆ペン字	社会人として必要な毛筆ペン字の基礎的な 知識や技能の修得を目指す	2 後	30	2		○		○					○	
○		Windows演習	パソコンの操作技能を活かし、より実務的 な文書の作成能力を身につける	2 後	30	2		○		○				○		
○		Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の 取得を目指す	2 前	45	3	△	○		○				○		
○		サービス介助	高齢者や障害者へのサービスにおいて必要 な、ケアの基本的動作を学ぶ	2 後	30	2	△	○		○					○	

○		GCB II	志について学ぶ	2 前	15	1	○			○		○		
○		英会話	社会人として必要な日常英会話表現を学ぶ	2 後	30	2	△	○		○				○
○		手話	手話でコミュニケーションを取るための基本を学ぶ	2 後	30	2	△	○		○				○
○	A	プランナー演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、全体のテーマの企画・運営を学ぶ（選択必須の4つから1つを受講）	2 後	90	6				○		○		○
○	B	ドレス演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、衣裳選定や着付けを学ぶ	2 後	90	6				○		○		○
○	C	ビューティ演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、メイク・ヘア・ネイルなど花嫁をトータルに演出するアイテムを学ぶ	2 後	90	6				○		○		○
○	D	フラワー演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、ブーケ・会場装花の演出について学ぶ	2 後	90	6				○		○		○
○		イラストレータフォトショップ	ブライダル商品の販売・広報用ツールとしての画像処理方法や活用方法を学ぶ	2 後	30	2				○		○		○
合計					57科目		1980単位時間（				101	単位）		

*A～*Dのどれか一つを選択する

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。